



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー

コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 川崎 工三

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	10,386	23.9	229	41.4	224	10.2	442	385.3
25年12月期第3四半期	8,385	9.1	162	△12.6	203	1.8	91	△70.0

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 471百万円 (183.3%) 25年12月期第3四半期 166百万円 (△44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	111.33	—
25年12月期第3四半期	22.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年12月期第3四半期	6,685		4,399		65.8	
25年12月期	6,241		4,323		64.5	

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 4,399百万円 25年12月期 4,025百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年12月期	—	0.00	—		
26年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当5円00銭

平成26年12月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	14.8	350	△10.6	359	△19.9	462	92.8	116.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
詳細は、添付資料3ページ「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	4,521,000 株	25年12月期	4,521,000 株
26年12月期3Q	545,206 株	25年12月期	545,206 株
26年12月期3Q	3,975,794 株	25年12月期3Q	4,145,025 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要やその反動減、また、一時株安に転ずる場面などもみられ、景気の腰折れを懸念する向きがあったものの、総じてみれば緩やかな景気回復局面は持続していると思われ、概ね良好な環境で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましても、企業業績の回復を背景とした設備投資増加の一環として、IT投資も引き続き好調に推移しているとみられ、当社グループの主力事業であるソフトウェア開発をはじめとするIT関連全般において人手不足の状況が続いております。このように景況感好転の中にあつて、引き続き市場は需要過多の状態推移しており、需給ひっ迫による受注単価の上昇も一部で見られるようになり、当業界においても、ようやくデフレ脱却の機運がみられる状況となりました。しかしながら、下落前の受注単価までには回復しておらず、IT投資に対するコスト意識や費用対効果の要求は厳しく、高い利便性の提供やコスト削減効果等の実現が強く求められております。

このような環境下、当社グループは、業界の市況回復を確実に享受するべく、事業を展開する各分野において、一層の受注増加に取り組み、売上高増加につなげることができました。顧客の産業分野別では、研究開発関連業務の増加をうけたモバイルインフラ分野、顧客のIT投資増加が持続している金融分野、クラウド化の流れなどの需要を享受したフィールドサービス分野が好調に推移いたしました。

一方で、これまで収益のほとんどを占めていた受託開発業務に加え、ITサービス事業を拡大すべく鋭意取り組んでおります新規事業におきましては、進捗はみられるものの、新たな取り組みにおいて早期に売上を獲得することが難しく、十分な成果には至りませんでした。しかしながら、当社グループの明日を創るべく、得意分野であるM2Mや無線通信技術関連、また医療関連などを中心にした新規事業への取り組みは辛抱強く継続し、収益獲得につなげて参りたいと考えております。これらの結果、当連結累計期間における連結売上高は前年同期を上回りました。

利益面においては、堅調な売上高推移を受けて全般は良好に推移いたしました。大型案件における採算悪化が大きく影響し、連結売上総利益率が前年同期に比べ1.6ポイント低下することとなりました。しかしながら、販売費及び一般管理費率が1.8ポイント改善したことで、連結営業利益率は前年同期に比べ向上し増益となりました。連結経常利益は、株式会社G I O Tの持分法投資損失等により営業外損益が前年同期に比べ悪化したものの、連結営業利益の増加をうけて増益となりました。連結四半期純利益に関しましては、連結子会社であるノックステータ株式会社の株式を追加取得し完全子会社化した際に、2億95百万円の負ののれん発生益を計上したことが影響し、前年同期に比べ大幅な増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高103億86百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益2億29百万円（前年同期比41.4%増）、経常利益2億24百万円（前年同期比10.2%増）、四半期純利益4億42百万円（前年同期比385.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、66億85百万円と前連結会計年度末より4億43百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金等の増加が、受取手形及び売掛金、商品および投資有価証券等の減少を上回ったことによるものであります。

負債は、22億85百万円と前連結会計年度末より3億67百万円増加いたしました。これは主として前受金、短期借入金、賞与引当金の増加が、未払金等の減少を上回ったことによるものです。

純資産は、43億99百万円と前連結会計年度末より76百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加が、少数株主持分の減少を上回ったことによるものであります。

なお、自己資本比率は65.8%と1.3ポイント上昇いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期通期連結業績につきましては、平成25年5月2日に公表いたしました「連結子会社の株式の追加取得による特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ、および連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（平成26年11月4日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	955,795	1,870,803
受取手形及び売掛金	2,935,910	2,459,871
有価証券	100,240	99,530
前払費用	74,354	112,190
商品	240,299	79,640
仕掛品	226,680	322,970
貯蔵品	1,537	—
繰延税金資産	132,854	201,051
その他	106,269	99,134
貸倒引当金	△3,377	△1,641
<b>流動資産合計</b>	<b>4,770,564</b>	<b>5,243,551</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	372,850	313,453
減価償却累計額及び減損損失累計額	△247,136	△198,452
建物及び構築物 (純額)	125,713	115,000
土地	250,419	248,084
その他	247,979	269,880
減価償却累計額及び減損損失累計額	△193,518	△181,252
その他 (純額)	54,461	88,628
<b>有形固定資産合計</b>	<b>430,594</b>	<b>451,713</b>
<b>無形固定資産</b>		
その他	157,541	244,773
<b>無形固定資産合計</b>	<b>157,541</b>	<b>244,773</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	498,531	390,229
長期前払費用	4,751	8,861
差入保証金	152,329	143,099
会員権	1,100	1,100
繰延税金資産	217,202	192,610
その他	9,478	10,965
貸倒引当金	△130	△1,332
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>883,262</b>	<b>745,535</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,471,397</b>	<b>1,442,021</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,241,961</b>	<b>6,685,573</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	842,976	771,876
短期借入金	70,000	84,229
未払金	367,480	253,981
未払費用	33,024	49,132
前受金	73,966	183,999
未払法人税等	46,666	70,197
未払消費税等	93,120	268,066
賞与引当金	15,012	255,327
役員賞与引当金	1,090	790
受注損失引当金	38,839	64,073
資産除去債務	3,590	—
繰延税金負債	1,082	—
その他	142,353	42,907
流動負債合計	1,729,201	2,044,580
固定負債		
長期末払金	8,304	5,510
長期借入金	—	27,629
退職給付引当金	20,936	51,477
役員退職慰労引当金	115,954	108,406
資産除去債務	44,071	48,319
固定負債合計	189,267	241,343
負債合計	1,918,468	2,285,923
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,440,600	1,440,600
資本剰余金	1,970,600	1,970,600
利益剰余金	1,027,658	1,390,766
自己株式	△423,528	△423,528
株主資本合計	4,015,330	4,378,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,200	41,274
為替換算調整勘定	△21,760	△20,063
その他の包括利益累計額合計	10,440	21,211
少数株主持分	297,722	—
純資産合計	4,323,492	4,399,649
負債純資産合計	6,241,961	6,685,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,385,883	10,386,846
売上原価	7,315,999	9,220,879
売上総利益	1,069,883	1,165,967
販売費及び一般管理費	907,441	936,202
営業利益	162,442	229,764
営業外収益		
受取利息	6,441	3,738
受取配当金	12,799	16,940
保険配当金	230	—
受取保険金	13,360	—
その他	10,754	5,589
営業外収益合計	43,587	26,268
営業外費用		
支払利息	973	1,766
持分法による投資損失	—	21,916
その他	1,225	7,658
営業外費用合計	2,199	31,341
経常利益	203,829	224,691
特別利益		
固定資産売却益	3,271	14,912
負ののれん発生益	—	295,515
投資有価証券償還益	3,541	—
その他	757	7,639
特別利益合計	7,570	318,068
特別損失		
助成金返納金	6,523	41,908
社葬関連費用	17,278	—
その他	4,726	9,615
特別損失合計	28,528	51,524
税金等調整前四半期純利益	182,871	491,235
法人税、住民税及び事業税	20,554	40,583
法人税等調整額	37,747	△10,007
法人税等合計	58,301	30,576
少数株主損益調整前四半期純利益	124,570	460,659
少数株主利益	33,362	18,035
四半期純利益	91,208	442,623



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,570	460,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,142	9,073
為替換算調整勘定	△332	1,697
その他の包括利益合計	41,809	10,770
四半期包括利益	166,380	471,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,018	453,394
少数株主に係る四半期包括利益	33,362	18,035

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

当社グループは、株式会社ISBパーソナルサービスおよびISB Vietnam Co., Ltdを連結範囲に含めたことに伴い、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務および情報加工サービス業を報告セグメントとしておりますが、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の割合が高く、情報開示としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

当社グループは、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務および情報加工サービス業を報告セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結累計期間において、情報加工サービス業を構成していた連結子会社である株式会社ISBパーソナルサービスの清算が終了したことにより、単一セグメントとなったため、セグメント別の記載は省略しております。